



いわき市

市長記者会見

令和4年5月17日



いわき市

案件

- 1 「福島国際研究教育機構」との連携に係る
本市の考え方について

「福島国際研究教育機構」との連携に係る本市の考え方について

1 「福島国際研究教育機構 基本構想(概要)」 [令和4年3月29日復興推進会議決定]

機能

1 研究開発機能

- ①ロボット
- ②農林水産業
- ③エネルギー
- ④放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用
- ⑤原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

2 産業化機能

- **産学連携体制を構築**
- 最先端の設備や実証フィールドの活用 など

3 人材育成機能

- **連携大学院制度を活用**。IAEA等と連携し、廃炉現場にも貢献し得る国際研究者を育成。
- **高等専門学校との連携**。小中高校生等が先端的な研究に触れる多様な機会を創出。
- 企業人材・社会人向けの専門教育やリカレント教育を通じ、産業化に向けた専門人材を育成。

4 司令塔機能

- 協議会を組織し、既存施設等の取組に横串を刺す司令塔としての機能を最大限発揮 など

施設・立地

1 機構の施設

- 国が新たに整備
- 敷地:10万㎡程度

2 機構の立地

- **避難指示が出ていた地域への立地を基本**とし、市町村の提案を踏まえた福島県からの意見を尊重して国が決定。



2 機構との連携に向けた本市の方向性

➤ 「産業界との連携」

- 地域企業との連携（共同研究、研究の場の提供 など）

【企業等で実際に協力できる分野】

スマート農業、廃炉、ロボット、次世代バッテリー、環境リサイクル、木質バイオマス、水産業、風力発電、最新鋭エネルギー、カーボンニュートラルポート（小名浜港）活用 など

➤ 「高等教育機関との連携」

- 高等教育機関（大学、高専）との連携

【連携の方向性について】

- ・福島高専等における福島国際研究教育機構で研究する人材を育成するカリキュラム等の提供
- ・高等教育機関における共同研究や研究の場の提供
- ・小中高校生等が先端的な研究に触れる機会の創出に向けた、「いわきアカデミア」、「いわき志塾」との連携

➤ 「国際的おもてなし」

- 国際会議、レセプションの受け入れ、英語が通用する宿泊施設の提供
- 外国人研究員への生活相談や生活環境支援
- 芸術・文化・スポーツなどのエンターテインメントの提供

「12市町村」



連携

「いわき市」



いわき市

案件

2 「登録防災士制度」への参加募集等について
～市民一丸となって「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」の実現へ～

1. 事業目的

- 地域の防災リーダーの育成を目的として「防災士養成講座」を開催(平成27年度～)
→ これまで362人が「防災士」の資格を取得

自然災害の頻発化・激甚化

高齢化や人口減少の進行

迅速かつきめ細かい被災者支援を進めるためには、さらなる「共助」の担い手を育成していく必要がある。

市内で約800名の防災士を対象に「登録防災士」を募集

2. 登録防災士について

① 対象者

特定非営利活動法人日本防災士機構から「防災士」の認定を受けた市内在住の方で、以下の活動に協力いただける方

- **市総合防災訓練への協力**
- **地域の防災講演会や講習会での活動(講師として)**
- 災害発生時において、市からの協力要請に基づき、以下の**被災者支援活動**を実施
 - **避難所開設、運営支援**
 - **被害状況の把握(洪水等による浸水範囲の特定など)**
 - **市ボランティア活動センターの活動支援**
(被災家屋の片付け等)
 - **その他、被災者支援のため市が必要と認める活動**

2. 登録防災士について

② 登録期間

令和4年8月1日から3年間(更新あり)

③ 募集期間

令和4年5月17日(火)から7月15日(金)まで

④ 応募方法

電子メールまたは郵送による(当日消印まで有効)。
応募用紙は、市ホームページからダウンロード可能。

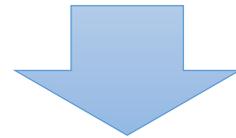


3. 「いわき市防災士養成講座」の拡充について

- より迅速な災害対応や被災者支援を行う体制づくりを進め、市の防災力強化を図る。



市内の高等教育機関との連携・協力



受講対象者や実施回数を拡充



① 拡充内容

項目	令和3年度まで	令和4年度
受講対象者の範囲	<ul style="list-style-type: none">・自主防災組織や消防団等の構成員・市職員	左記に加え、 <ul style="list-style-type: none">・市内の中学校、高校、大学（高専、短大を含む）、専門学校に通う学生・市内の企業に勤務されている方・防災活動に関心のある市民
実施回数	年1回	年 2回 （8月、11月の予定）
受講対象者数	70人	110人 （55人×2回）

※ 受講者の募集等については、詳細が決まり次第、お知らせする。

② 講座の日程

連続する2日間とし、最終日に防災士資格取得試験を行う。
※事前課題(レポート)の提出、救命救急講習の修了が必須

③ 応募要件

自主防災組織等の構成員以外の方については、次の活動に参加いただけることを要件とする。

- ・市が行う研修(年1~2回)への参加
- ・第2回総合防災訓練(11月26日(土)予定)への参加
- ・災害発生時において、市からの要請に基づき、避難所の開設運営、被害状況の調査、災害ボランティア活動等への協力



④ 受講費用

無料(**市が全額負担**。ただし、受講会場までの交通費(駐車料金を含む。)、食事代、資格認証手続きに必要な証明写真代については、各自負担。

⑤ 講座の実施機関(県内の養成研修機関は次の2法人のみ)

- (1) **独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校**
- (2) **学校法人昌平黌**

⑥ その他

防災士資格取得者を対象として、防災士として活動していくために必要な知識等の習得を目的に「フォローアップ研修」を開催する予定。





いわき市

案件

3 いわき市新型コロナウイルスワクチン

4回目接種実施方針について

4回目接種の目的

新型コロナウイルスに罹患した場合の重症化予防

※ 国では、5月下旬から接種が開始出来るよう、関係省令等を改正するとしており、4回目接種は、特例臨時接種に位置づけられる予定。



4回目接種の対象者

3回目接種から、少なくとも5か月以上経過し、①又は②に該当する方

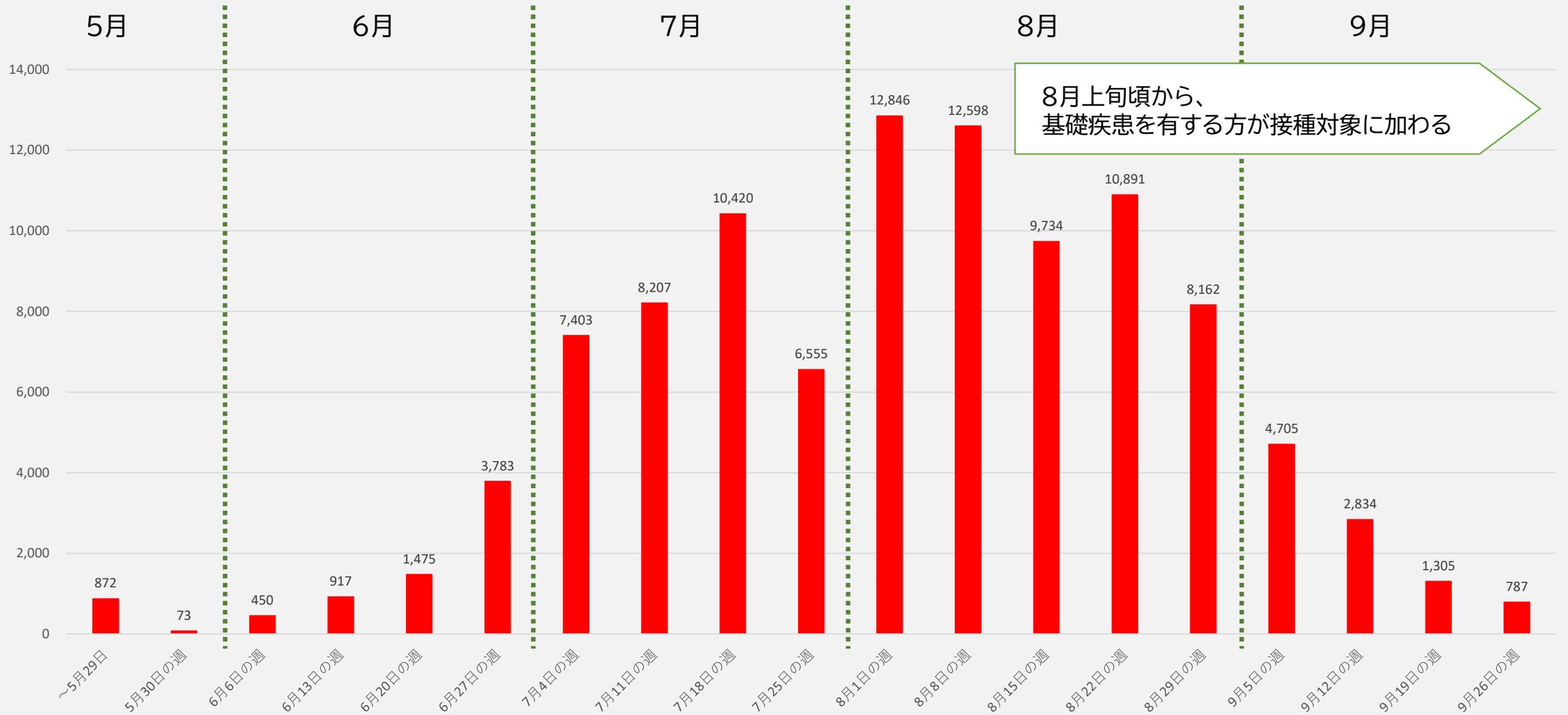
- ① 60歳以上の方
- ② 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方その他重症化リスクが高いと医師が認める方

対象者見込数： 約12万人(うち60歳以上 約10万6千人)

※1・2回目では基礎疾患を有する方約2万人に接種券を優先送付

4回目接種の対象者 (3回目接種から5か月が経過する60歳以上の方)

R4.5.6時点



8月上旬頃から、
基礎疾患を有する方が接種対象に加わる

基礎疾患を有する方の範囲(1・2回目と同じ)

1 以下の病気や状態で、通院や入院をしている方

- 慢性の呼吸器の病気
- 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
- 慢性の腎臓病
- 慢性の肝臓病（肝硬変等）
- インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
- 免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。）
- ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
- 染色体異常
- 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
- 睡眠時無呼吸症候群
- 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

2 基準(*BMI30以上)を満たす肥満の方(*目安:身長170cmで体重約87kg/身長160cmで体重約77kg)

スケジュール

1 接種券の発送

- (1) 60歳以上の方
→5月27日(金)から順次発送
- (2) 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方
→申請受付後随時(3回目接種から概ね4か月後に発送)



【事前申請受付】

受付開始:令和4年6月～

申請方法:「市webサイト」又は「専用コールセンター」

※ 「心臓」、「呼吸器」、「腎臓」、「肝臓」の機能障害による身体障害者手帳をお持ちの方や、療育手帳等をお持ちの方は申請不要。
(市が該当者を把握しているため接種券を送付)

2 接種開始

5月30日(月) ※接種券が届き次第、予約のうえ接種可

接種体制

	区分	接種場所	開始時期	ワクチンの種類
個別接種	個別接種	病院・診療所 (約120医療機関)	5月30日(月)	ファイザー社製 (一部の医療機関は、武田/モデルナ社製)
	大規模個別接種	いわきゆったり館	6月上旬(予定)	武田/モデルナ社製
集団接種	常設型集団接種	いわきグリーンベース	6月3日(金)	ファイザー社製 (~6月) 武田/モデルナ社製 (7月~)
	スポット型集団接種	久之浜・大久、川前、 小川、三和、遠野、田人 (6地区)	8月下旬~9月上旬 ※3回目のスポット接種 実施日から約5か月後	武田/モデルナ社製

※基本的に3回目と同じ体制